

# ひらつか

広報 2017 11月  
No.1090 第1金曜日号



くなる街 湘南ひらつか」平塚まちなか美術館実行委員

## 身近な道から広がる アート

平塚駅前の地下道へ続く階段に、10月、巨大なアート作品が出現しました。地下道の壁面にも16の作品が描かれ、通る人の目を楽しませています。この「平塚地下道ミュージアム」の取り組みは、平塚にゆかりのあるアーティストの手によって生み出されたものです。

目次

1~3面…**特集** まちを彩るアーティスト…市内などで活躍するアーティストと、まちをアートで盛り上げる取り組みを紹介します。  
4~7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ  
8面…ヒラツカルチャー「MOTTO図書館」

ひらつか  
議会だより

平塚市の人口と世帯数

<平成29年10月1日現在( )内は前月比>

人 口 258,439人…(+127)  
世帯数 109,938世帯…(+162)







昨年、平塚まちなか美術館実行委員会によって制作された壁画アート。工事が終了した平成29年2月まで展示されました

# まちなかを彩るアーティスト

平塚で活動するアーティストが、アートでまちを盛り上げる取り組みを進めています。芸術の秋、まちに広がるアートを楽しみませんか。

問 秘書広報課 ☎21-85556

## アートでつながる地域の輪

平成28年の初夏、平塚駅北口にある商店街の工事現場を囲う壁面に、個性的なアート作品10枚がずらりと並んだのを知っていますか(上写真)。

品を作りたいと思ったんです」と代表の北澤桃子さんは話します。

この壁画は、平塚にゆかりのあるアーティストが集まり、立ち上げられた「平塚まちなか美術館実行委員会」によって制作されました。「地域の方やアーティストと連携して、歩いていくだけで目に入る作

障がいがある人が働く、カフェ併設のギャラリー「GALLERY COCCA&CAFE」の施設長を務める北澤さん。壁画を制作するきっかけは、地域の商店会からの依頼でした。「最初は、私たちのギャラリーへの依頼として、お話

## 地域に溶け込む

を受けたんです。でも、せっかくなら多くのアーティストを巻き込んで、広がりのある作品を作りたいと思いました」。

参加してくれるアーティストを探し始めた北澤さん。「ボランティアでの仕事だったので、協力してくれるアーティストを探るのが大変でした。普段はアートを仕事としている方たちですから」と当時の苦労を振り返ります。それでも、趣旨に賛同する、平塚ゆかりのアーティストが協力を快諾、北澤さんの思い描く壁画が実現しました。

「壁画を描いたことで、地域とのつながりが深まったと感じました。通りを歩く人が立ち止まって写真を撮ったり、描いている時に声を掛けてくれたりして。普段は美術館やギャラリーに足を運ばない人でも気軽に見られるのが良かったと思います」と手応えを話す北澤さん。壁画アートをきっかけに、GALLERY COCCA&CAFEを訪れてくれる方も増えたと言



「多くの人に見てもらいたい」と話す北澤さん

ます。「名前にギャラリーと付いているので、少し敷居が高く、入りづらいと感じてしま方もいたと思います。その中で、どうやって地域に溶け込んでいくかが課題でした。壁画の取り組みは、ちょうどその突破口の一つになりました」と力を込めます。

## まちと一緒に発展

「平塚は美術館や博物館など、文化施設が充実していますし、七夕まつりの飾り作り

などでは、住民の方のものづくりへの熱意を感じます」と、平塚の土壌にはアート文化が根付いていると話す北澤さん。アート文化をさらに広げていくために、今後の活動にも意欲を見せます。「私たちの活動を通じて、市内でアーティストが活躍する場を増やしていきたいですね。私たちも仕事の幅が広がりますし、なにより、まちも盛り上がりつつあると思います」。

同実行委員会は、10月に「平塚地下道ミュージアム」と銘打ち、平塚駅前広場の地下道の壁面に初めてアートを描きました。「地下道を通れば必ず目に入ります。普段は通らないという方も、一度ぜひ地下道を歩いてみて欲しいですね。今後も、まちとアーティストが一緒になって発展していけたらうれしいです」とほほ笑む北澤さん。平塚のまちにアートでつながる輪が広がり始めています。



真剣な表情で、壁画制作に取り組むアーティスト

## フォトスポットの制作者

### オノルイーゼさんも参加

昨年、湘南ベルマーレひらつかビーチパーク by shonanzoenと湘南平に出現したフォトスポット。訪れる人々を魅了するこのアートは、市のプロモーションの取り組みの一つとして制作されました。手掛けたのは平塚出身のペインターであるオノルイーゼさん。今回、平塚駅前の地下道のアート制作にも参加しました。オノさんは「今回の絵はアネモネの花をイメージして描きました。アートの力で、地下道を明るく、通って楽しい場所にしたいですね」と意気込みを話してくれました。



地下道に作品を描くオノさん



# 参加アーティストを紹介

平塚地下道ミュージアムの壁画アート制作には、計16人のアーティストが参加します。いずれも平塚に拠点を置いたり、湘南地域を中心に活動したりしているアーティストばかり。参加アーティストの一部を紹介します。

## ギャラリークーカカフェ

明石町14-8

平塚まちなか美術館実行委員会の代表・北澤さんが施設長を務めるGALLERY COOCA&CAFEは、障がいがある人がそれぞれの得意分野を生かして働くカフェ併設のギャラリーです。「メンバー」と呼ばれる障がいがある人15人と、それを支えるスタッフ5人の計20人が働いています。同ギャラリーに飾られている多種多様なアート作品は、全てメンバーによって制作されたもの。カフェでの調理・接客もこなすメンバーは、みんな魅力的な人柄の人ばかりです。

スタッフの三堀泰寛さんは「メンバーが制作し、展示しているアートは、大胆な色使いをしていたり、緻密に描き込まれていたり、独特の世界観があります。単純に作品として見て面白い、引き込まれるものばかりです。今回、平塚地下道ミュージアムの取り組みには3人のメンバーが参加(下図③⑤⑦)し、階段ラッピングアートにもメンバーの作品が採用されました。ギャラリーにも、ぜひ気軽に足を運んでもらえたら」と笑顔で話します。

お茶を飲んで一休みしながら、アートを眺める時間。同ギャラリーでそんなひとときを過ごしてみませんか。



ギャラリー内にあるギフトショップの商品を確認する三堀さん(写真左)と店長の高原智哉さん

いちなろくいちスタジオ

## 1761studio 袖ヶ浜17-60

2年前にシェアアトリエ兼ギャラリーとしてオープンした1761studio。作品を制作する場所でありながら、展覧会やワークショップなども開いています。絵画をはじめ、彫刻や陶芸、詩など、さまざまな分野の若手アーティスト13人が所属する同スタジオからは、今回、アートの制作に4人が参加しました(下図⑩⑭⑮⑯)。所属アーティストの坂田恭平さんは「メンバーはそれぞれ分野も作風も異なるので、いろいろな作品を楽しんでもらえると思います。分野の違うアーティスト同士でも、刺激し合って、高め合えるのが、この場所なんです」と話します。

10月にはオープン2周年記念の展覧会を開催した同スタジオ。「アートは鑑賞するにも知識があると思われがちですが、見る人がもっと自由に楽しんでいいと思います。私たちの活動を通じて、平塚の人たちがよりアートに親しむきっかけづくりができれば」と力を込めます。さらに「地域の方たちにも、表現の場として気軽に利用してもらえるようにしていきたい」と今後の目標を話す坂田さん。平塚に新しいアートの風を送り込む同スタジオを、一度のぞいてみませんか。



糸で布の作品を織るウエービングのアーティスト・関口あさみさん。定期的にワークショップを開催しています

## ENOWA

絵を描く過程をパフォーマンスとして見せる「ライブペイント」を中心に活動する女性2人組アーティストのENOWA。カラーを担当する福田絵里奈さんとモノトーンを担当する杉山彩さんの2人が即興で描くダイナミックな絵が注目を集めています。

かつてはそれぞれ別に活動していたという2人。展覧会などのイベントで顔を合わせるうちに意気投合し、平成27年にENOWAを結成しました。「ENOWAの活動では2人で一つの絵を描くんですが、初めての時から違和感なくできましたね」と話す福田さん。2人の息の合ったパフォーマンスも大きな魅力の一つです。杉山さんは「2人で一つの作品を作ることで、刺激を受けることも多いです。どんな作品を作ろうか、決めて描いていないので、自分たちも完成が楽しみなんです」とほほ笑みます。

ENOWAの2人は、壁面のアート制作に参加(下図⑧⑬)するほか、11月3日(祝)の落成式(下囲み)でライブペイントを披露します。圧巻のパフォーマンスをぜひご覧ください。



ライブペイントで制作した作品の前で談笑する福田絵里奈さん(写真右)と杉山彩さん

## 駅の地下が美術館に

# 平塚地下道ミュージアム

平塚駅前広場の地下道の壁面に、市シティプロモーションの一環として「手をつなぎたくなる街」をテーマに、16人のアーティストが制作したアートが並びます(右図)。

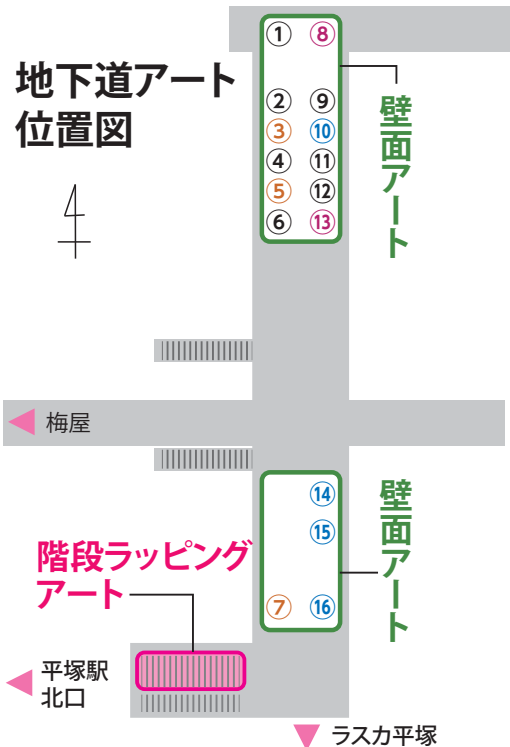
また、平塚駅北口から地下道に続く階段に、1枚の巨大なラッピングアートを制作しました(1面写真)。階段ラッピングアートには、今年の湘南ひらつか七夕まつりの公式グッズのデザインにも採用されたstudio COOCAの横溝さやかさんの作品を使っています。

落成式  
11月3日(祝)

参加アーティストによる作品解説をするほか、ENOWAによるライブペイントやバンド演奏などをします。  
あいさつ・作品解説 午後1時~2時。平塚駅北口・平塚駅前広場地下道。  
ライブペイント・ライブ演奏 午後2時~4時。平塚駅北口。

平塚まちなか美術館実行委員会 ☎67-7520

## 地下道アート位置図



## 担当アーティスト

- ① オノルイーゼ
- ② 内山睦
- ③ 清水壮一郎
- ④ 宮本仁彦
- ⑤ 伊藤太郎
- ⑥ 佐藤勇太郎
- ⑦ 松本倫子
- ⑧ 杉山彩
- ⑨ AISA
- ⑩ Ri
- ⑪ AIGA
- ⑫ 大和田いづみ
- ⑬ 福田絵里奈
- ⑭ 高橋健太郎
- ⑮ 関口あさみ
- ⑯ 岩崎夏子